

令和4年第11回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和4年8月24日（月）午後2時開会

2 場 所 天草市役所 庁議室

3 本会議に出席した教育委員等

教 育 長	石 井 二三男	委 員	木 下 えり子
委 員	行 合 八恵子	委 員	吉 森 啓 司
委 員	池 崎 教 授	委 員	平 道 千 春

4 本会議に出席した事務局職員

教 育 部 長	平 野 貢 司	教育総務課長	本 多 俊 隆
学校教育課長	赤 星 潤 一	生涯学習課長	岡 田 恵
学校給食課長	堀 口 広 正	教育総務施設係長	正 村 謙 一
学校給食課管理係長	渡 邊 英 治	教育総務課総務企画係長	松 下 美 紀

5 本会議に付した議題等

(1) 議題

議第46号 天草市学校給食食物アレルギー対応委員会委員の委嘱及び任命について
議第47号 令和4年度一般会計補正予算（第5号）について

(2) 協議・報告

- (1) 令和4年度天草市学校運営協議会委員名簿について
- (2) 令和4年度天草市地域学校協働活動運営委員会委員名簿について
- (3) 令和4年9月行事予定について

6 会議の概要

(1) 開会

石井教育長： ただ今から、令和4年第11回天草市教育委員会定例会を開催する。傍聴人がいないことを確認する。

(2) 前回会議録の承認

石井教育長： 前回の会議録であるが、何か意見はないか。なければ承認してよろしいか。
(全員承認する)

(3) 教育長報告

石井教育長： あと少しで2学期の始業式であるが、新型コロナウイルス感染症がまだまだ収束しない状況であり、新学期もコロナ感染症とともにやっていく必要がある。このコロナの影響で県中体連準優勝の御所浦中男子バレー部が九州大会をやむなく辞退し、女子の信愛女学院中も辞退となった。なお本渡中吹奏楽団が8月の九州大会出場の結果、10月22日名古屋で開催される全国大会への出場が決まった。九州から4校である。また、先日の新本渡学校給食センター落成式はお世話になった。これから2学期に向けて安全面に注意しながらやっていっていただきたい。牛深地区の二十歳のつどいは久しぶりに夏季の開催となり大変お世話になった。諸研修として特別支援教育研修会の開催、天草郡市人

権教育研究大会もハンセン病関係のジャーナリスト井上佳子先生を招き行った。明日は3年ぶりに天草市教職員夏季研修会を開催する。ハイブリッド型で半分が市民センターへ参集し、半分オンラインでの開催予定、講師は国立教育政策研究所所長の浅田和伸先生で快く引き受けていただいたところである。

(4) 議題

議第46号 天草市学校給食食物アレルギー対応委員会委員の委嘱及び任命について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

堀口学校給食課長： 天草市学校給食食物アレルギー対応委員会設置要綱第4条に規定する委員の任期満了に伴い委嘱又は任命する必要があるため、承認をお願いします。

吉森委員： 会議は年に何回開催なのか。アレルギー対応の食事を一日何食作っておられるのか。近年の例でアレルギーが発症した事例や子供たちの人数の推移が分かれば教えてほしい。

堀口学校給食課長： 会議は年に2回予定している。1日に何食対応しているというより、令和4年度に対応しているのは74名で新給食センターでの対応は40名である。近年の状況について、令和3年度は87名であり若干減っている。除去食の対応ができない生徒が1名おり、弁当を持参してもらっている。アレルギーの実際の状況について、今年度多いのは甲殻類35名、次に落花生18名、卵16名、ナッツ類13名、乳、ごま、魚類が10名程ずついる。

木下委員： 対応してもらうのは保護者からの要望なのか、病院からの証明があつてからなのか。

堀口学校給食課長： 保護者からの申し出である。学校ぐるみで対応していただくよう対応委員会を設けてあり、申請書と合わせて病院からの診断書をつけていただくようになっている。それをもとに対応委員会で栄養教諭が入り検討している。

行合委員： 先日の説明でアレルギー5品目に対応しているとのことで、適切な対応だと感じた。どこかで制限しないと4千食の対応の中では大変であると思う。食事もそれぞれの味が生かされていて、とてもいい食事を作っていると思う。なお、天草郡市医師会の葦原先生の推薦はどのような経緯か。

堀口学校給食課長： 葦原先生は郡市医師会からの推薦である。アレルギー品目調査のため診断書をつけていただくことから、医師会との連携を図るうえでご推薦いただいた。実際に診断をされる中でアドバイスもいただき、令和2年度よりお世話になっている。

行合委員： アレルギー専門の方が。

堀口学校給食課長： アレルギー専門ではないが、医師会の方でも診断書の項目で複雑な場合は小児科に相談されるよう、アレルギーを持つ子供たちが除去食を食べられるような連携を取れたらと思う。分類で調理上の中では28品目16グループに分け、そのうち5グループ以上超えたら完全除去、5グループまでは除去食として対応している。

石井教育長： ほかに質問等はないか。なければ議第46号について承認してよろしいか。

(全員承認する)

議第47号 令和4年度一般会計補正予算(第5号)について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

本多教育総務課長： 今回補正予算として計上する教育委員会関係の補正額の計は、3,871万4,000円となる。歳出は、小中学校の大型掲示装置、液晶モニター購入費500万円、物価高騰に伴う小中学校の空調用LPガスの供給単価見直しに係る事業費として290万3,000円と192万9,000円、LPガスについては、複数年の単価契約を行っており、物価高騰に伴い、使用量の多い空調用、給食用について、全庁的に見直しを行い補正するものである。本渡学校給食センターの空調及び調理用のLPガスの供給単価見直しに係る事業費として114万9,000円及び小中学校の給食材料費の高騰分に係る事業費として1,593万5,000

円で合計が1,708万4,000円、地域交流センターおおくすの多目的ホール空調改修に係る社会教育施設整備事業費として913万5,000円、ここらすの空調用LPGガスの供給単価見直しに係る社会教育施設管理費として、266万3,000円を補正するものである。

赤星学校教育課長： 市内小中学校において、平成30年度から進めてきた普通教室への大型ディスプレイの設置について、寄付金を活用し購入するものである。令和3年度に市内小中学校の普通教室に65型の液晶モニターを107台設置したが、普通教室に設置している既存モニターの中には40型など比較的小さく見えづらい物があるため、予算の範囲内で購入し設置を行い、既存モニターは理科室等の特別教室へ設置をしたい。購入予定のモニターは65型の大型液晶モニターとなり、モニタースタンドを含み、小学校8校、中学校4校、合わせて25台の購入費用分の500万円の補正であり、補正後の予算額は、4,925万1,000円である。財源としては、寄付金500万円が充当される。河浦町出身で東京都在住の村上様より本市へ1,000万円のご寄付があり、小中学校のICT整備事業に500万円、残り500万円が子育て支援課が行っている子ども育み応援事業にいただいたものである。

岡田生涯学習課長： 社会教育施設整備費について、五和町の地域交流センターおおくすの多目的ホールの空調故障に伴い修理を行うものである。利用者が多い施設であり、令和元年度については2万人を超える利用者があり、利用頻度が高く、建築年月は平成13年3月、21年を経過しており6月に故障が判明した。機械が製造されておらず部品がないため、すべて取り換えとなる。

堀口学校給食課長： 給食費管理運営費について、物価高騰に伴う小中学校等の給食食材、賄い材料費について、1学期の実績では1食単価10円程度高くなっている。更に今後も食材の高騰が予測されるため、今回1食単価15円を補正するものである。令和4年5月現在の児童生徒数が5,404人で、年間1人当たり約3千円程度上がることになるので、その分の保護者の負担軽減が図られる。歳入については、国からの原油価格高騰等総合緊急対策の通知の中に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用で、学校給食費の保護者負担の軽減が図られるため活用するものである。

石井教育長： 事務局より説明があった。何か質問等はないか。

行合委員： 大型ディスプレイは、児童生徒のタブレットの内容も表示ができるのか。

赤星学校教育課長： そのとおりである。全員の状況が表示できる。

行合委員： 小学1年生の活用状況を見学した。作成した作品（魚）を動かすなど、楽しみながらICTに触れ、ディスプレイに映し出すことで児童たちが共同体感、連帯感を意識できると感じた。色々な使い方があるなと思った。

木下委員： 給食費についてだが、コロナ化の中、経済も停滞している。もし給食費の値上げをしたい場合はどのような手順が必要となるか。

堀口学校給食課長： もし値上げをするというようなことになる場合は、各センターの学校給食運営委員会に諮り、校長、PTA会長で決定をされる。運営委員会へ決算を報告し、給食単価を決定する。栄養教諭は1食単価の中で栄養バランスも考え、地元の食材も使用し頑張っている。

木下委員： その場合は各センターの対応であるのか。

堀口学校給食課長： そのとおり。それぞれの運営委員会で決定している。

石井教育長： ほかになければ議第47号について承認してよろしいか。

(全員承認する)

(5) 協議・報告

(1) 学校運営協議会委員名簿について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

赤星学校教育課長： 学校の運営に地域の声を反映し、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めようとするもので、令和2年度に市内小中学校に設置し、現在に至っている。委員の任期が1年となっており、本日は小学校単独が8協議会、中学校単独が2協議会、小中合同が9協議会で、19の学校運営協議会の委員について学校長から推薦があったので報告する。委員293人のうち92人が新規の委員となる。保護者が入っていない協議会が見られるが、これらは、例えば保護者の代表としてPTA会長や同副会長が本渡南小では地域住民、栖本小中では関係行政機関の職員、天草小中では対象学校の運営に資する活動を行う者として区分されていることから、保護者という要件区分が表示されていない。

行合委員： 有明中、倉岳中がないようだが。

赤星学校教育課長： それぞれ小中学校が一緒に表示されている。

(2) 地域学校協働活動運営委員会委員名簿について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

岡田生涯学習課長： 地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組みづくりとして、地域と学校が連携・協働する活動の円滑な推進を図ることを目的に天草市地域学校協働活動運営委員会委員9名をお願いするものである。地域の各関係団体のつながりを活かし、地域全体で地域と学校の連携協働が図りやすくなるよう、推進員定例会の機会を意見交換の場として共通理解を図っていただいている。今回、任期満了に伴い令和4年8月1日から1年間、再任7名、新しく委員2名の方に委嘱を行ったので報告する。

(3) 令和4年9月行事予定について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

本多教育総務課長： 市議会定例会は8月30日に開会し、9月26日まで開催予定で、このうち9月20日、21日、22日に一般質問が予定されている。1日は市立幼稚園の始業式、学校訪問については、9日が御所浦小中学校、27日が五和小学校、28日が有明中学校の予定である。教育委員会定例会は27日庁議室で14時から予定している。

7 その他

石井教育長： 教育委員又は事務局から何かないか。

8 閉会

石井教育長： なければ以上をもって、本日の会議を閉じる。大変お疲れさまでした。